
京都税理士協同組合ニュース
KYOZEIKYO

発行所
京都税理士協同組合
発行人 廣瀬 伸彦
編集人 有田 行雄
〒604-0943
京都市中京区麩屋町通御池上ル
上白山町258-2
電話(075)222-2311
E-mail kyozei@kyozei.or.jp



創立35周年記念コンサート“美しい音楽のひと時”より アルト 渡邊 玲美さん

第35回通常総会開催

京都税理士協同組合の第35回通常総会が、7月30日京都ホテルオークラ3階翠雲の間において開催された。

通常総会は、司会の堀田芳孝専務理事が本年度中にご逝去された組合員の名前を読み上げ、上京支所小山守組合員（都山流竹琳軒大師範小山青山）の厳かな尺八の調べが流れる中、参加者全員が黙祷を捧げその冥福を祈って始まった。

廣瀬伸彦理事長が開会に際して挨拶を述べた後、司会者は出席者数の報告を行い本総会が適法に成立したことを宣し、総会議長の選任を議場に諮った。

議場より「司会者一任」の声があり、司会者は下京支所原綱宗会員を指名し、議事に入り、以下の5議案が上程された。

第1号議案 第35期（平成18年6月1日から平成19年5月31日まで）事業報告及び財務書類（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）承認の件

小坂文夫専務理事が事業報告を、二股茂財務委員長が財務報告を行った後、村山佳也監事が監査報告を行った。

第2号議案 定款一部変更案承認の件

辰巳修偉法規・諸規則委員長が中小企業等協同組合

法の一部改正に伴い、今回は必要最小限の範囲の変更をしたい旨を述べた。

第3号議案 第36期（平成19年6月1日から平成20年5月31日まで）事業計画及び収支予算（見積損益計算書）承認の件

小坂文夫専務理事が事業計画を、二股茂財務委員長が収支予算の提案を行った。

第4号議案 役員任期満了につき改選の件

小坂文夫専務理事が選任すべき役員、理事55名監事5名（内1名は員外監事）については定款第30条第6項ただし書の定めによる投票以外の方法（多数決）に依りたい旨を述べた。

第5号議案 借入金最高限度額承認の件

小坂文夫専務理事が借入金最高限度額を2億円としたい旨を述べた。

いずれの議案についても質問者もなく原案通り承認可決され、3号議案については提案された理事・監事予定者が承認された。議長は議事の終了を告げ降壇した。

続いて、全税共文化財団の助成式が行われ、理事長は「BATI HOLIC」と「大文字国際交流音楽祭実行委員会」の2団体へ助成金を贈呈し、両団体の代表は謝辞を述べた。

そのあと来賓が紹介され、来賓代表の祝辞があった。

最後に田島博昭副理事長が閉会のことばを述べて、総会は無事終了した。



＝理事長挨拶＝

“新たな気持ちで さらなる飛躍を”

去る7月30日第35回通常総会と同日に、組合創立35周年記念式典を開催し、多数の組合員及びご来賓のご参加を得て、厳粛の内にも華やかに開催することが出来ました。

ここにあらためてご協力をいただいた方々に厚くお礼申し上げます。

私は通常総会、そして理事会において、引き続き理事長の大役に再選され、いま一度、その責任の重大さを痛感いたしているところであります。

当組合は35年の歴史の上に現在では確固たる地位を築き、財政基盤はゆるぎないものとなっています。この組合の業務執行を負う役員の一員として責任の重さは計り知れないものであります。

総会にて議決された事業計画にもとづく業務の執行



理事長
廣瀬 伸彦

と予算の執行が基本ではありますが、従来の慣行に従うだけでなく、常に新たな気持ちでさらなる飛躍をモットーに組合運営を計らねばなりません。

副理事長3人制など組織が一部変更になりました。その主旨を生かした業務執行に向かいます。

常務理事会の充実、若くて新しい委員長を先頭に少しずつでも新しい方向へ組合運営を転換し、業績の向上を計らねばなりません。

組合員の皆様には今まで以上の組合活動にご参加を願いたいと思っています。新しい委員長のもと、是非積極的な組合活動にご参加下さい。皆様の参加が益々組合の繁栄につながるものであります。

新しい協同組合法によって定款の一部が変更になりました。業務監査、会計監査にも員外監事の監査を受けます。

新しい感覚と新しい方法で組合運営を計って参らねばなりません。組合の明るい未来のため組合員皆様方とともに努力を傾けて参りますので、今までにも増して力強いご支援ご協力をお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

創立35周年記念コンサート・祝賀会



第35回通常総会終了後休憩を挟み、引き続き翠雲の間において、京都税理士協同組合創立35周年記念式典を執り行った。



堀田芳孝専務理事の司会のもと、吉澤俊二副理事長の開会のことばで式典は始まり、廣瀬伸彦理事長の挨拶、平澤政治副理事長の「35年のあゆみ」の報告と続き、次の方々に感謝状を贈呈した。

第1号基準（組合運営特別功労）

上田 寛

第2号基準（組合運営功労）

石原 牧	井上 玲子	太田 克
小松 通男	坂部 浩	重田 公啓
篠田 展俊	勢至 宏行	辰巳 修偉
田中 英文	中村 清之	長谷川雄一
原 綱宗	平田彌三郎	藤岡 忍
堀田 芳孝	堀口 裕弘	間嶋 利行
三浦 幹雄	室谷 澄男	

第3号基準（提携企業業務貢献）

株式会社 大丸
 株式会社 公益社
 株式会社 国土工営

第4号基準（事務局職員永年勤続功労）

片木 聡美 戸田 純子

そのあと、来賓が紹介され来賓代表の祝辞があり、二股茂常務理事が祝電の披露を行った。

最後に、片野晏弘副理事長が閉会の言葉を述べて記念式典は終了した。

創立35周年記念コンサートは会場を4階暁雲の間に移し、「美しい音楽のひと時」と題した、ソプラノ 稲森慈恵、アルト 渡邊玲美、テノール 馬場清孝の3人の



出演者が歌うオペラアリア・カンツォーネに聴き入った。

そのあと、再選された廣瀬伸彦理事長の開宴のことばと新副理事長3名と専務理事2名の紹介の後、乾杯を合図に祝宴に移った。

最後に小坂文夫専務理事の閉宴のことばで楽しい一日を終えた。
 （編集委員 有田行雄）

俳句

上京支所 井上 良二
 (木村)

新涼やチーズケーキを厚く切り
 山里の鰥夫教師や障子貼る
 秋灯や英々辞書に亡兄のメモ
 行潦残して行くや秋の雷
 うた、寝や畳の下の鉦叩

創立35周年に寄せて



廣瀬 來三

初代理事長
(昭和47年7月～昭和58年7月)

昭和47年7月、京都税理士協同組合は、大阪合同税理士会京都府支部（現近畿税理士会京都府下13

支部）全会員の総意により、創立されて、ここに35周年を経過しました。

私は、創立から昭和58年7月までの11年間を、理事長として就任してまいりましたが、当初の5年間は実に困難の一時期であり、諸事業を担当された各役員には非常なご苦勞をかけてまいりました。

当時、大阪国税局長殿より設立認可があり、京都府、京都市、又、京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫さらには大同生命保険相互会社などから暖かいご支援を頂きながら、出資金はなかなか集らず、各事業も必ずしも順調ではなく、唯一京都税経学院の運営によって組合収支が辛うじて償なわれた状況がつづいておりました。

昭和51年2月、全国税理士共栄会への参加が転機となり、業績は第5期（昭和51年6月～52年5月）より好転し、私が退任しました第11期（昭和57年6月～58年5月）には総収入金6,094万円、純利益1,011万円、組合員775人、出資金10,312万円というすばらしい組合に成長し、その好業績は35周年を迎えました今日、現在へと発展しつづけております。

今、思い出しますと、第1期～第4期の連続欠損金の計上、毎月の経費さえ捻出できずの時もあり、第5、6期には繰越欠損金の補てん、第7期より連続利益金計上による出資配当金の支出と、税理士会各支部への教育情報費の配分が出来るようになりました。まことに昔日の感あり、夢のようであります。

これらは、歴代理事長はじめ役員皆様のご尽力、組合員皆様のご協力、関係先、提携先各企業のご支援の

賜ものであり、ここに厚くお礼を申し上げるところであります。

以上創立35周年を迎え当時の思い出の一端を述べさせて頂きました。



森 金次郎

第2代理事長
(昭和58年8月～平成3年7月)

京都税理士協同組合の輝かしい創立35周年を迎えられたこと、おめでとうございます。

その間、多くの難関に遭遇する場面があったかと思えます。それをその時々執行部の方々の英知と、組合員の一致協力の下に乗り越えてこられたこと、誠に敬意を表するものであります。

特筆されるものは、会館の移転問題であります。旧会館については、それだけの思い出もありますが、当時の上田理事長の決断により、立派な現会館が完成しました。組合員の利便性、又、機能性を考えたすばらしい会館であります。

時まさにバブルがはじけ、土地の価格の下落と相俟って、上田理事長の強運には頭が下がります。

旧会館については、土地は京都市から賃借をお願いし、京都府からは多額の現金の補助金を頂きました。

組合創立についての約束は、組合費を賦課しないことでした。まだ保険事業はやっていなかったもので、こんなことで組合の運営がやっていけるのかという心配もありました。

唯一のビッグ事業は、学院の経営でありました。有田徳五郎先生にご無理をお願いし、大変なご苦勞をされたことが思い出されます。

時代が変わり、保険事業の開始をはじめとして各種

ありがとうございます。
これからも

地域とともに コミュニティ・バンク

地域とともに・・・

これが「コミュニティ・バンク」の原点です。
地域の皆様にとって一番近い存在であるように、
これからも京都税理士協同組合のみなさまとともに歩んでまいります。



京都市下京区四条通柳馬場東入 TEL(075)211-2111
<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

京税協・支部連共催 全税共協賛

全税共 VIP君・ランちゃん
ゴルフコンペ

平成19年11月12日(月)

場所 琵琶湖カントリー倶楽部

奮ってご参加ください!!

お待ちしております～す☆



事業を手がけ、それが順調に成績を上げられ、税理士協同組合の設立趣旨に沿って活躍されていること、財政状態の安定の点から申し上げて、全国の税理士協同組合の模範といえると思います。

税理士業界を取り巻く環境も依然として厳しいものがあります。税理士会と両輪の関係を堅持し、税理士業界発展のため、更なる飛躍をされますよう祈念いたします。



清水 久雄

第3代理事長
(平成3年8月～平成11年7月)

私が二代目森金次郎理事長より引継いだ翌年の平成4年に創立20周年を迎えました。それから早15年が経過し、このたび創立35周年の盛大な記念式典を挙行されましたことは、誠にご同慶の至りであります。この15年間の組合は時代の厳しい変化に即応した運営が行われ、安定した成長発展が継続されてまいりました。そして、その中で何よりも特筆すべき事と言えば、それは平成16年4月に、上田寛前理事長の基で組合創立以来35年の間に、二度目の税理士会館(組合所有の)を全く自力による建設の快挙がなされ、恐らく全国の税理士業界においても、京税協以外には皆無でありましょう。この大きなエネルギーは、当組合員の日頃からの組合に対する力強い協力と熱意が後押しとなり、執行部の方々に尚一層のパワーを発揮させたのでしょう。そして、この快挙の源泉となる財源には、多くの提携企業先の存在は申すまでもありません。新会館建設後の会館運営は、機能の良さが存分に発揮され、会館の利用者を始め、多くの訪問者にも高い評価がなされています。次に、私にとりましてこの期間に成就出

来た大きな喜びがありました。それは私の理事長就任中の平成10年頃より、大同生命の税理士共済事業の生命保険金保有高が2千5百億円に達し、この勢いならば目標の3千億円も早々に達成出来るものと楽観をしておりましたところ、その後の経済情勢の不安定な時期もあり、保有高の減少をもたらし、一時は諦めの心境となりましたが、その後の保険担当の役員の方々の努力もあって、この35周年の節目に、やっと長年の願望でありました3千億円を突破出来ました事は、特に私にとりましては、その喜びは一入でありました。これから先40周年に向かって、廣瀬伸彦理事長のもとに益々の発展をお願い申し上げ、日頃の執行部のご苦勞にあらためて感謝申し上げます。



上田 寛

第4代理事長
(平成11年8月～平成17年7月)

組合創立35周年おめでとう御座います。京税協の今回の隆盛を心よりお祝い申し上げます。

昭和45年9月1日発行、大税京都府支部税理士会館建設特集第1号に「六百会員の殿堂実現へいま一步」一事業協組で実効ある運営へ、支部会員の総力結集を熱望一との見出し。京都府下600名強の税理士会員の悲願ともいえる長年の熱い思いから始まった会館建設と協同組合の設立は、時の建設特別委員、推進委員、会員の総力を結集して幾多の難関を乗り越え昭和47年7月22日組合設立、昭和48年2月24日京都税理士会館落成式の挙行と、今回の京税協発展の礎が築かれました。爾来、関係各位の強力なご支援を得て組合員全員参加を旗印に積極的に事業を展開、推進し名実相俵う組合に成長発展して参り、平成16年4月5日には交通至便の市内中心部に会館建設移転を果たし、組合員、賛助会員に今まで以上の利便を提供し、片や税理士の社会貢献事業展開の拠点として大いに活用されることになりました。ご同慶の至りに存じます。

設立より京税協は一貫して組合員のための組合として、税理士会支部とは唇齒輔車の関係を堅持し、組合員相互扶助の精神のもと運営、経営が行われ、今回の隆盛を見るに至りました。この度、激動する社会経済の流れに即応すべく執行機関が改組され、より活力ある組合運営が期待されます。どうか今後とも京税協の原点を大切に、先輩諸先生の育まれた良き伝統を受け継ぎ益々堅実に発展されますよう心から祈念申し上げます。

なお35周年記念式典において、皆様より表彰基準第1号による感謝状と記念品を頂戴いたしました。身に余る光栄と心から深く感謝申し上げます。有難う御座いました。

税理士協同組合の 報酬自動支払制度

税理士とその関係者のために
NICHIZEI GROUP

集金の手間が
省けます。

もいなく入金!



未収金の防止に
役立ちます。



報酬をまとめて
先生の口座に振込

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.nichizei.com/nbs/hs/>

税理士報酬専門の口座振替による自動集金システム。
全国13,300の税理士事務所でご利用中!



税理士協同組合事務代行社

お申込み、お問い合わせは、こちらまで。

株式会社 日税ビジネスサービス ☎0120-155-551

〒163-1588 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29階

全国税理士共栄会だより No.374 (2007年6月号)

ただ今、「税理士VIP代理店」登録事務所募集中!



全税共ではただ今、財政基盤が堅固な足腰の強い税理士事務所づくりを応援するために、税理士VIP代理店登録事務所を募集しています。
なりませんか、税理士VIP代理店!

- 代理店の仕事
 - ①VIP大型総合保障制度と全税共年金の普及及び契約の保全
 - ②生命保険設計書の作成及び提案
 - ③申込書類の作成と手続
 - ④その他
- ※これらの仕事を通じて、下記の提携生命保険会社から所定の代理店手数料が支払われます。

代理店手数料(例) X社単独募集型特約代理店の場合

5年目	約21万円
4年目	約21万円
3年目	約21万円
2年目	約21万円
1年目	約159万円

5年間に受取る代理店手数料の総額約242万円
成果を重ねると代理店手数料も複合的に増加していきます。

※代理店手数料は、保険会社ならびに代理店の等級などによって異なります。

税理士VIP代理店制度は次の生命保険会社の協力を得て進められています。

- 朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●明治安田生命 ●住友生命 ●富国生命 ●AIGエジソン生命 ●アリコジャパン ●アクサ生命 ●横浜ジャパニハまり生命 ●AIGスター生命 ●オリックス生命 ●マスマチュアル生命 ●アイエヌジー生命

※税理士VIP代理店になるためには所定の資格が必要です。詳細は各生命保険会社にお問い合わせください。

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/

全国税理士共栄会だより No.376 (2007年8月号)



暑中お見舞い申し上げます。
平素は本共栄会の事業活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜りながら御礼申し上げます。
さて、VIP大型総合保障制度と全税共年金の普及を通じて税理士業界と関与先の発展に寄与する目的で始まった全国統一キャンペーンは今年で22回目を迎え、いよいよ9月にスタートします。
昭和61年の第1回以来、本共栄会は全国の税理士協同組合との関係者ならびに提携生命保険会社各社の力強いご協力を得てこのキャンペーンを推進してまいりました。それが結果として、多くの関与先企業に経営の安定と、豊かな老後をもたらしましたとはご承知の通りであります。
私もこの経験に学び、まもなく始まるキャンペーンでも関係各位のお力添えをいただいでVIPと年金のさらなる普及と努める所存です。皆さまの一層のご支援をお願い申し上げます。
平成19年盛夏

全国税理士共栄会
会長 久原 久
他役員一同

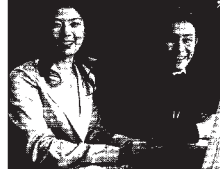
通行手帳

まもなく第22回全国統一キャンペーン

期間/平成19年9月~11月

本共栄会は提携生命保険会社営業職員の税理士事務所訪問活動を応援するため、今年も右掲の通行手帳を作成しました。キャンペーン期間中は、この通行手帳を持って多くの営業職員が税理士事務所を訪問すると思われまふ。あたたかい対応をお願いいたします。

※「通行手帳」は昨年のキャンペーンでVIP大型総合保障制度と全税共年金の普及を通じて税理士業界と関与先の発展に特に貢献した営業職員だけが持っています。



キャンペーンは全税共と各税理士協同組合ならびに次の生命保険会社の協力によって推進されます。
●朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●明治安田生命 ●住友生命 ●富国生命 ●アクサ生命 ●AIGエジソン生命 ●アリコジャパン ●マスマチュアル生命 ●AIGスター生命

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/

全国税理士共栄会だより No.375 (2007年7月号)

第22回全国統一キャンペーン

平成19年9月・10月・11月

通行手帳



今年も提携生保営業職員が「通行手帳」をもって事務所を訪問いたします。
事務所を訪問する営業職員の皆さんは、昨年のキャンペーンで優秀な成績をあげ、税理士業界と関与先の繁栄に多大な貢献をされた方々です。今年もあたたかい対応をお願いいたします。

＜第22回全国統一キャンペーンは次の生命保険会社の協力を得て進められます＞

- 朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●明治安田生命 ●住友生命 ●富国生命 ●アクサ生命 ●AIGエジソン生命 ●アリコジャパン ●マスマチュアル生命 ●AIGスター生命

ホールインワン100万円保険

記念品代からケガの補償まで、幅広く対応

保険料は収入増加の30%削減

補償の内容	賠償責任は
ホールインワン費用 100万円	1億円の大型補償!
賠償責任 1億円	年間12,000円で大きな補償
身体傷害 1,000万円	(一般加入の保険料は約17,000円です)
ゴルフ用具損害 32万円	

お問い合わせ・お申し込み先/補全税共サービス 03(5740)8364

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/

全国税理士共栄会だより No.377 (2007年9月号)

第22回全国統一キャンペーン、スタート

関与先と税理士業界の発展のために、力強いご協力を...

期間/平成19年9月~11月

通行手帳



本共栄会今年も左掲の「通行手帳」を作成し、提携生保営業職員の税理士事務所訪問活動を応援しています。
キャンペーン期間中は税理士業界と関与先の発展のために訪問されていく多くの営業職員の皆さんが事務所を訪問することになり、あたたかい対応をお願いいたします。

※「通行手帳」は昨年のキャンペーンでVIP大型総合保障制度と「全税共年金」の普及を通じて税理士業界と関与先の発展に特に貢献した提携生命保険会社の営業職員だけにお渡ししているものです。

- 朝日生命 ●第一生命 ●日本生命 ●明治安田生命 ●住友生命 ●富国生命 ●アクサ生命 ●AIGエジソン生命 ●アリコジャパン ●マスマチュアル生命 ●AIGスター生命

「通行手帳」は昨年のキャンペーンでVIP大型総合保障制度と「全税共年金」の普及を通じて税理士業界と関与先の発展に特に貢献した提携生命保険会社の営業職員だけにお渡ししているものです。

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zenzeikyo.com/